



ガリ版報告書

第10号 令和3年4月

広島県議会議員 自由民主党

三好良治

みんなのすきな よい せいじ！

国内で初めて新型コロナウイルス感染症患者が確認されてから一年半が経過します。この間、私たち議会としても多くの提言を行い、事業の在り方や効果について厳しい議論を尽くしてきました。

また今後についても、甚大なダメージを受けている県内経済の立て直しや、災害復旧、デジタル技術の導入（DX）、県財政の健全化など、多くの難題が「待ったなし」に待ち受けています。引き続き、ワクチン接種を含め、感染症対策に全力で取り組むと同時に、こうした課題に一つ一つ全力で向き合い、一層緊張感をもって努力していく覚悟です。

また河井夫妻の買収事件に関する政治倫理審査会が設置をされ、私もその委員に選任されました。この事件により、政治に対する信頼は地に落ちたと思っています。適正公正に審議を重ね、県民の皆様の信頼を再び取り戻せられるよう精一杯努めていきます。

コロナ対策、地域課題を確実に進めていくため、
国・県・市のパイプを更に太くし、連携できるよう努めていきます！



令和3年度予算の概要

県全体予算のポイント

令和3年度 一般会計当初予算の概要

令和3年度当初予算>	令和2年度補正予算>	△基 年額
1兆 938億円	+ 499億円	<u>1兆1,437億円</u>

○ 国の補正予算を活用した令和2年度2月補正予算と一体的に予算繰成し、新型コロナ対策や創造的復興に最優先で取り組むとともに、それぞれの強引なライフスタイルの実現を目指します。

令和3年度 施策のポイント

1 新型コロナウイルス感染症対策の強化	673億円
■ 感染拡大防止対策 ■ 医療提供体制の確保 ■ 3密を避けた事業継続と雇用維持	
2 それぞれの欲張りなライフスタイルの実現	1,469億円

2 それぞれの歓びりなライフスタイルの実現 1,469票

- 県民の皆様の様々な不安を軽減し、「安心」につなげます。
- 広島県の強みである地域資源や魅力を磨き、実感することで、県民一人一人の「誇り」を高め、「挑戦」を後押しする土壤につなげます。



(1) デジタルトランスフォーメーションの推進
□ 仕事・暮らしのデジタル化の推進 □ 市町村会におけるデジタル化の推進
□ 行政・デジタル化の推進 □ デジタルトランスフォーメーションの推進を支える基盤づくり

(2) 県民の挑戦を後押し
ア 黒風が続く不安を軽減し「安心」につなげる
□ 予防の力でなくなりやすく安心感の形成 □ 新たな防災意識をもつる人々の実現
□ 人生100年時代を実現する「健康寿命の延長」 □ 運動可能な高齢者・介護負担低減の構築
□ 地域社会の安心の実現 □ ハート・アフターがーになった防災・減災政策 □ 布谷・暮らしの安全の確保
□ 動き方改革・多様な主体の自発能動 □ 支援・連携機能の整備
□ 復興への負担の少なさ・持続可能な社会の構築

イ 黒風の「**弱気**」にこながる強みを出す
□ 運営組織の再編成による防災事業部、『地域資源の柱の一つとなる競争資源の確立
□ 熟練者の資質を生かしたボーナス化の実現 □ 地域密着度を高めるための形成
ウ 県民一人一人の夢や希望の実現に向けた「挑戦」を後押し
□ イメージソーシャルマーケティングの実現 □ 生活感覚の高い持続可能な森林木産業の確立
□ 安心・安心の醸成につながるそれまでの「累積」の実現

(3) 特性を生かした適度・適集な地域づくり
□ 伝統的の発展を引き立てる都市の形成 □ 自然豊かで分散を生じた中山間地域の形成
□ 我慢性の高い農業型都市の創造

3 創造的復興による新たな広島県づくり 650億円

■ 安心と共に支え合う暮らしの創生 ■ 未来に挑戦する産業基盤の創生
■ 将来に向けた強靭なインフラの創生 ■ 新たな防災対策を支える人の創生

県の福山市にかかる予算概要

令和3年度当初予算 及び 令和3年2月補正予算(同補正関連)

福山市課題分の主な施策			(単位:千円)
区分	施策	予算額	備考
地域開発・政策実現	利根川の復興	1,127,033	▶ まちづくりの取組事業 ▶ 市町との連携協力事業
	鳥居越峰運河への支援	20,667	▶ 防災対策 → 交通・交差点整備等の整備
	生活交通適応への支援	6,000	▶ 市が自ら運営する「バス路線」への補助
	都市基盤整備の創造	12,945	▶ 山陽小野田市街地の創出
スポーツを活用した地域活性化	スポーツによる地域活性化	5,000	▶ ねがわ杯・スポーツの盛りに係る運動
	その他の	87,011	▶ 未来の構造づくり社会貢献金
	小児保健医療体制の確立	59,446	▶ 小児科診療室の受入移転整備
	高齢者医療体制の支援	62,256	▶ 運営費補助(2年持続)
医療・福祉・生涯学習	がんの早期検査	10,000	▶ がん検診受診率向上病院への補助
	回復期病床の整備	171,014	▶ 病院内回復期に特化する施設に対する助成(12カ所)
	子育て支援・育児対策	532,156	▶ ひら・まき保育りのび、地域子育て支援拠点整備等への補助
	社会会員組織の整備	75,631	▶ 少年健やか運動会の開催費用の補助
医療・福祉・生涯学習	不妊治療・通院費対策	123,123	▶ 不妊治療、通院費用等の助成セミナー・講習会等の補助
	高齢化社会対策費	21,993	▶ 地域の高齢化問題、飲食施設等の事業への助成
	その他の補助・助成事業	35,397	▶ 感染症予防、不妊治療院訪問、外国人・受入れ助成等
	県立学校施設の整備	324,889	▶ 福山市立第一・西浦小学校建替事業 ▶ 福山市立第一・西浦中学校改修事業 ▶ 福山市立第一・内部改修改築計画、屋上防水工計画 等 ▶ 福山市立第一・内部改修改築計画、屋上防水工事 ▶ 稲葉・荒尾上水工事、豊島等3地区計画計画工事 等 ▶ 福井寺支・筋道キット改修工事 ▶ 神羽一・上原学校改修計画 ▶ 福山市立第一・内部改修改築計画 等
教育・文化	文化事業	5,000	▶ 福山城跡400年記念事業への負担金
	各種講習会等	205,207	▶ 歴史博物館、少年自立の会、文化財研究会等への助成
商工	福山工業園地への補助 等	8,953	▶ 震災復興工事補助金、中小企業向け支援セミナー開催歩合
	令和令立地促進対策	955,000	▶ 産業振興交付金支給
インフラ整備へ公共交通機関へ公共交通機関へ	公共交通(一般)	711,622	▶ 基幹バス・姫路・気仙・後藤 → 佐世保接続運行 ▶ 山地巡回・神村・福田 ▶ 鹿島原空港整備・西明池 ▶ 豊山駅周辺整備計画一下野原、下知原、上山守、赤坂 ▶ ため池整修第一・川原山削除、荒瀬池 (JR西日本新幹線建設事業)
	公共交通(土木)	10,715,779	▶ 温湯・福山沼澤林、福岡182号、新市七ヶ浜緑地 ▶ 高瀬・一ツ原(手原川)、高瀬川整備(高瀬川) ▶ 佐伯・今瀬橋架設整備事業(佐伯、佐久丸) ▶ 海岸・瀬南地区整備企画(一文字地区、瀬戸地区) ▶ 温湯・瀬戸温泉改修工事(船引・船引) ▶ 住吉・県営住宅(県営南島・弓削・鹿足永住宅) ▶ 温湯・一ツ原(波根、波根) 等
	公共交通機関へ公共交通機関へ	18,300	▶ 石山市の健全化に対する交付金
	対島嶼地区土地造成事業	254,172	▶ 水木井川工事費
その他	下水道事業・雨水道用土砂災害事業	1,092,690	▶ 西庄津川セミナー・井戸井川河川更正工事等
	その他・その他	51,157	▶ その他

また、丁度同じく大蔵省では、より厳格な方針です。特に公的機関においては、日本政府の監視体制を確立するため、事務監査は変動する可能性があります。その中でも、国土強化化関係の個別事項が不透明で何年以上に亘る状況です。

懸案であった「今津東詰交差点（松永道路・西インターへの出入り口）改良事業」が県の五ヶ年計画に採択されました。

県道柄松永線・慶応浜バイパス事業の地元調整もほぼ終わり、本年度から本格的に土地買収が始まります。

今回採択された交差点改良工事と連動することで、西インターから松永を通り、藤江、沼隈、鞆トンネルと続く生活道の渋滞緩和と安全の向上が期待できると考えます。



2月本会議、今回も、トップバッターで質問させていただきました！

※全文と答弁はホームページに掲載していますので興味のある方は是非ご覧ください。



1. 県の進める新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて

(1) 積極的疫学調査で得られたデータの集積・分析とこれらを用いた施策判断に対するここまで
の課題認識について

(2) 飲食店への営業時間短縮要請の根拠と今後に向けた方針について
(3) 家庭内感染への対応について

2. ICT 教育推進にあたっての私立学校への支援について

3. 広島県産農林水産物による食育の推進について

4. 県東部海域におけるカキ養殖の推進について

5. 雇用調整助成金等の申請に要する費用を支援する事業の延長について

6. 「在籍型出向の利用による雇用維持」に対する県の支援について

7. 県の進める「働き方改革」に向けた取り組みについて

(1) 県の考える「働きがい」の定義と広島県版「働きがいのある会社」優秀企業の創出について
(2) 「同一労働同一賃金制度の導入」及び「高齢者の安定雇用」に向けた取り組みについて

決算特別委員会での質疑



1、働き方改革の推進について

- ・働き方改革関連法の施行に伴う県の取り組みと成果について
- ・認定企業の法令遵守状況の把握について
- ・新たなビジョンのアクションプランにおける指標設定と取り組みの考え方について

2、児童虐待の現状と関係機関との連携について

3、国民健康保険県単位化の現状と、今後の展開について

- ・県の示す保険料率に関して、その考え方と各市町の反応について
- ・県の示す保険料率に市町の医療費水準を反映させない理由と、乳幼児等公費負担などの付加的サービスの一元化の進捗状況について
- ・収納率の推移と今後の方針について
- ・保健事業の在り方と、市町ごとの健康診査受診率を納付金算定へ反映されることについて

コロナ禍で大きなイベントは難しくなりましたが、ミニ座談会や現地視察などにお招きいただきました。



政務調査会副会長として知事への会派要望と意見交換

皆様の声をお聞きし、現実的で財源の裏付けのある重要施策を確実に提言し、実現していくことが最大会派の務めだと考えます。



プロフィール

昭和 47 年生まれ 48 歳

家族 妻・長女（高1）・次女（中1）

猫 4 匹（全てメス）

出身 福山市駅家町中島

現住所 福山市南松永町

平成 9 年 愛媛大学法文学部 法学科卒業

平成 9 年 元内閣総理大臣 宮沢喜一秘書

平成 12 年 衆議院議員 宮沢洋一秘書

平成 23 年 広島県議会議員初当選

平成 31 年（令和元年）3期目当選

（現在）

農林水産委員会

自民党広島県連 遊説局長

三好良治社会保険労務士事務所 代表

広島県社会保険労務士会 顧問

（これまで）

文教委員会 委員長

警察商工労働委員会 委員長

産業競争力特別委員会 委員長

総務委員会 副委員長

自民党広島県連 青年局長

自民議連 社会保障制度調査会 会長

連絡先

住所 福山市松永町 4丁目 3-6

電話 084-933-0580

Fax 084-933-4075

E-mail:m-info@miyoshi-ryoji.jp